



はじめに

- このパワーポイントの資料は、令和3年4月、島田市社会教育委員が島田市教育委員会からの諮問「家庭教育の在り方」に対して答申した提言書の中高校生編です。全編については本冊や配布資料をご覧ください。
- 内容は、第1章「子どものライフステージと家庭の役割」と第2章「家庭教育に悩んだ時の『処方箋』」で構成されています。
- 子育てをするお父さん、お母さんの家庭教育における羅針盤に！
- 子どもとともに成長しませんか！

第1章「子供のライフステージと家庭の役割」構成

- 乳幼児期～肌を離さない
- 未就学児期～手を離さない
- 小学生前期～眼を離さない
- 小学生後期～眼を離さない
- 中学生～心を離さない
- 高校生～心を離さない

中学生～心を離さない～

- 第2次性徴がはじまる→大人に向けた心身の発達
 - 思春期とも呼ばれる→親離れがはじまる
 - 行動の変化→親の干渉を嫌う、友達関係を優先
 - 現実の自分と理想との落差に焦りや不安を感じる時期
→心のいら立ちが生まれる→「反抗期」として現れる
 - 反抗期→子供の成長を知らせる大切なサイン
- ☆ 思春期を正しく理解
 - ☆ 「心の耳」で話を聴く
 - ☆ 子どもの応援団として「心を離さない」

☆家庭は「自立しようとする子どもを支える応援団がいる場」

◇応援団として子どもに接する



～応援団としての3つの心がけ～

- 特別扱いをしない→気になること、正すべきことをきちんと伝える
- 子どもからの話しかけ→心を子どもに向け、しっかり聴く
- 暴言や暴力では親の思いは届かない
- *感情が高まってきたら、より丁寧な言葉でゆっくり話す



☆家庭

→社会の一員であることを自覚し、自分の言動に責任を持つことを教える場

- ◇家族のルールや社会のルールを再確認し、
- 家族みんなで守りましょう



☆家庭

→自分自身を見つめ、どのような大人になるか考える場

- ◇テレビのニュースや新聞を話題に会話する
- ◇進路選択等では、子どもの希望を尊重
- ◇子どもの不安を家族で支える



高校生～心を離さない～

- 身体的にはほぼ大人→精神的にはまだ揺れている
 - **自分探しの旅**→本当の自分を求め、さまよっている時期
 - 行動範囲、交友関係の広がり→親の目が届きにくくなる
 - 家庭からの巣立ち目前
- 外の世界に触れさせる
*「社会の一員としてどんな貢献ができるのか」考えさせる
 - **聴き上手に徹する**
 - 大人への自立まで**心を離さないで、しっかり見守る**

☆家庭

→社会の一員としてどのような貢献ができるか考えさせる場

◇子どもの視野を広げるよう興味関心を刺激する



◇様々な体験をする機会を提供する

* ボランティア活動等



☆家庭→主体的な進路決定を支える場

◇進路選択は**子どもの希望を尊重する**

- 子どもの適性・能力をもとに考える
- 学校選びではなく、その後の進路を考える
- 仕事のやりがいを伝える
- 親の願いや思い、家計状況等をソフトに伝える



第2章「家庭教育に悩んだときの「処方箋」」の構成

- ① 新たなメディア(スマホ等)との付き合い方に悩んだら
- ② 叱るとき、手を上げそうになった時は
- ③ 社会情勢が厳しくなる状況での子どもへの接し方
- ④ “いじめ”に悩んだら
- ⑤ ”問題行動“や”発達障害“に悩んだら

※詳細は、配布資料をご覧ください

- ※報告書市公式ホームページ掲載箇所URL
- <https://www.city.shimada.shizuoka.jp/kurashi-docs/shakaikyoikuinkai.html>

- ※報告書市公式ホームページ掲載箇所QRコード
-

